

ながのご縁を **縁** 信都・長野市

防災・減災のまちづくりをめざして ～長沼体育館の復旧工事が完了しました～

令和元年東日本台風で被災した長野市長沼体育館の復旧工事が完了し、8月28日にリニューアルセレモニーが開かれました。

セレモニーには、地域住民や利用者など約130人が集まり、2年10カ月ぶりに使えるようになった体育館の完成を喜びました。当日は、プロバスケットボールBリーグ1部の信州ブレイブウォリアーズの選手らも駆けつけ、フリースローやダンクシュートを披露した後、早速、地元の小学生がバスケットボールに汗を流し、体育館に久しぶりの歓声が上がりました。

近年激甚化する様々な自然災害から市民の命と生活を守るため、議会としても引き続き、防災・減災対策に取り組むとともに、地域を応援してまいります。

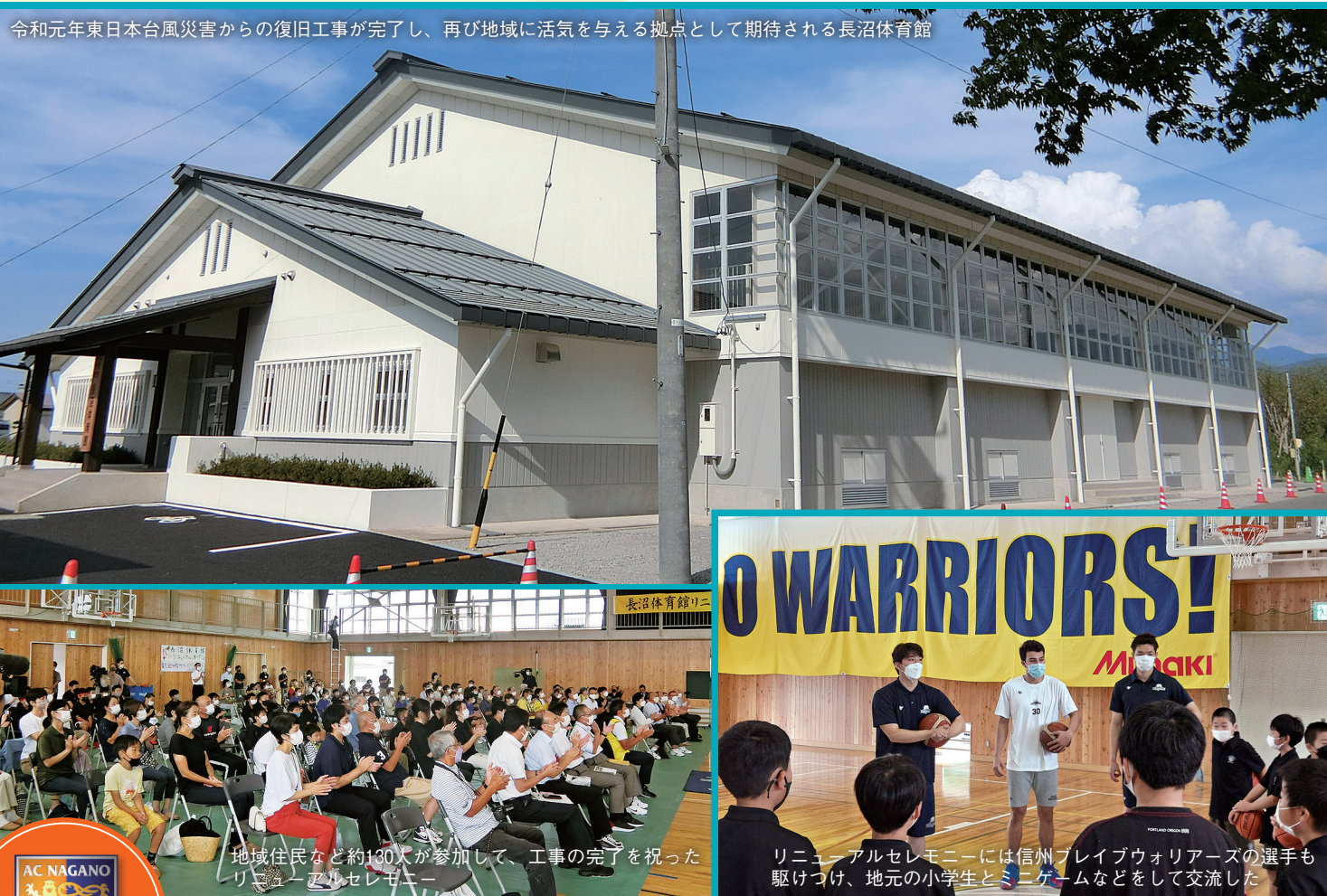
ながの だよ市議 りよ会

令和4年
9月定例会
NO.120

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～3
- ◆市政に関する質問の要旨…4～9
- ◆常任・特別委員会のうごき…10～11
- ◆新しい議会構成……………裏表紙

令和元年東日本台風災害からの復旧工事が完了し、再び地域に活気を与える拠点として期待される長沼体育館



地域住民など約130人が参加して、工事の完了を祝ったリニューアルセレモニー

リニューアルセレモニーには信州ブレイブウォリアーズの選手も駆けつけ、地元の小学生とミニゲームなどをして交流した

「本誌は再生紙を使用しています」

11月のホームゲーム
(長野Uスタジアム)

トップチーム：ガイナレ鳥取戦11/6(日)13時、藤枝MYFC戦11/20(日)14時
レディース：日テレ・東京ヴェルディベレーザ戦11/26(土)14時



市議会定例会

会期
9月1日
9月28日

一般会計36億4,722万5千円を補正

一般会計予算総額は1,715億8,147万円に

9月市議会定例会が9月1日から28日までの二十八日間の会期で開かれ、令和4年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（3頁参照）。補正予算など主な議案の概要について紹介します。また、最終日に副議長選挙が行われ、各委員会の委員が交代するなど、議会の構成が新しくなりました（裏表紙に掲載）。

補正予算の内容

9月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに三十六億四千七百二十二万五千元を追加し、一般会計予算総額は一千七百十五億八千四百四十七万円となりました。主な内容は次のとおりです。

地域鉄道・路線バス・タクシー 運行支援事業

地域公共交通維持のため、市内を運行する鉄道、バス及びタクシー事業者への支援に要する経費が追加されました。（二億二、六五六万四千元）

新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業

6月から開始した四回目の追加接種について、接種体制の確保に要す



ビッグハット内に設けられた新型コロナウイルスワクチン集団接種会場

る経費が増額されました。

（六億四、四四五万円）

各災害復旧事業

本年8月までに発生した集中豪雨等により被災した農林業施設、道路施設及び河川施設の復旧に要する経



8月の豪雨による被害（中条地区）

費が増額されました。

（二〇億九、一一〇万円）

ながの子育て世帯 臨時特別給付金

食費等の物価高騰の影響に直面している中、子どもたちの健やかな成長を支援するため、子育て世帯に対する特別給付金の支給に要する経費が追加されました。

（六億三〇三万八千円）

南長野運動公園フットボール場 整備事業

第八二回国民スポーツ大会・第二七回全国障害者スポーツ大会施設整備計画に基づくフットボール場の整備地の決定に伴い、用地測量及び基本設計等に要する経費が増額されました。

（七、六六六万二千元）

主な議案の内容

長野市奨学基金条例の一部改正
長野市奨学基金により入学準備金の貸し付けを行うこと及び奨学資金の貸し付けに係る要件を見直すことに伴い改正されました。

長野市立学校設置条例の一部改正

長野市立信州新町小学校を長野市立信州新町中学校の敷地内に移転すること及び長野市立七二会中学校を廃止することに伴い改正されました。

人事案に同意

今井財産区管理委員に島田俊也氏（再任・川中島町今井）、利根川雄二氏（再任・同）、高野達夫氏（新任・同）、田島修太郎氏（新任・同）、戸澤俊徳氏（新任・同）、桑原政則氏（新任・同）、寺澤章氏（新任・同）を選任すること、人権擁護委員に込山令子氏（若里四丁目）、青木一男氏（稲田二丁目）、小池正人氏（七二会乙）、大内壽光氏（稲里町中央一丁目）、五明靖夫氏（差出南二丁目）を推薦することに、それぞれ同意しました。

長野市議会では、去る8月10日に、議長・副議長が新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を市長に提出しました。

長野市長 荻原健司 様

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

日頃から、新型コロナウイルス感染症対策については、荻原市長中心となり、感染防止対策、医師会を始めとした医療機関等との連携など、多大なる御尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、オミクロン株による拡大を続けた第6波が減少傾向に転じたのも束の間、7月以降、新たな派生型への置き換わり等により感染の拡大が止まらず、現在、「第7波」と言われる新規感染者数の増大が日々続いている事態に陥っております。

8月7日20時現在、病床使用率が全県で54.8%となり、8日には全県に医療非常事態宣言が発出され、県独自の感染警戒レベルは最高の「6」に引き上げられました。

移動の多くなる時期となり、今後、社会経済活動を維持継続することの必要性からも、感染の拡大を抑えることが重要であります。市におかれましては、これまでも様々な取組みに御尽力いただ

ておりますが、更なる感染防止対策について取組みを進めていただくよう、次のとおり要望いたします。

- 1 新型コロナウイルスの流行「第7波」の急拡大を受け、感染拡大の長期化、重症化に備えるため、ワクチンの高齢者等への4回目接種や若年者への3回目までの接種の積極的な促進を図ること。また小児（5～11歳）の接種についても、円滑な接種促進を図ること。
- 2 高齢者施設等の従業者への高齢者等を守るための積極的検査、また自主検査への支援や、手洗い、手指消毒、換気等基本的な感染予防対策の徹底を図るための市民啓発など、更なる感染予防策の徹底を図ること。
- 3 現在、市保健所を中心として、重点的に進めている新型コロナウイルス感染症対策について、着実な実施に努めること。

令和4年8月10日

長野市議会 議長 寺沢さゆり

※○=賛成×=反対

※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

9月定例会 審議結果一覧

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況			
	新友会	改革ネット	共産党	公明党	無所属A			無所属B	新友会	改革ネット	共産党	公明党		無所属A	無所属B	
第60号 令和4年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	市長提出議案等 報告	第25号 公益財団法人ながの観光コンベンションビューローの経営状況の報告	報告月日 9月1日							
第61号 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○		第26号 株式会社エムウェブの経営状況の報告								
第62号 令和4年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○		第27号 一般財団法人長野市文化芸術振興財団の経営状況の報告								
第63号 印鑑条例及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×		第28号 公益財団法人長野市スポーツ協会の経営状況の報告								
第64号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第29号 健全化判断比率の報告								
第65号 奨学金基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第30号 資金不足比率の報告								
第66号 手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第6号 決算特別委員会の設置並びに議案第78号、議案第79号、議案第80号、認定第1号及び認定第2号の付託	○	○	○	○	○	○	○	
第67号 国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第7号 議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	○	○	○	○	○	○	○	
第68号 有償旅客運送自動車の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第8号 議会会議規則の一部を改正する規則(案)	○	○	○	○	○	○	○	
第69号 市立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○		第9号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(案)	○	×	×	○	×	×	○	
第70号 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	第10号 へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○		
第71号 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例及び公共下水道事業受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	第11号 不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○		
第72号 財産の取得(資源再生センター残渣運搬用大型車両)	○	○	○	○	○	○	第12号 特別委員会の廃止	○	○	○	○	○	○	○		
第73号 財産の取得(高規格救急自動車)	○	○	○	○	○	○	第13号 特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○		
第74号 財産の取得(高度救命処置用資機材)	○	○	○	○	○	○	第14号 長野広域連合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	○		
第75号 財産の取得(災害対応特殊消防ポンプ自動車)	○	○	○	○	○	○	第15号 千曲衛生施設組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	○		
第76号 市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	○	○	第16号 須高行政事務組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	○		
第77号 損害賠償額を定めること	○	○	○	○	○	○	第17号 常任委員会・議会運営委員会閉会中継続調査申出	○	○	○	○	○	○	○		
第78号 令和3年度産業団地事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	第18号 副議長辞職	○	○	○	○	○	○	○		
第79号 令和3年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	第19号 副議長選挙	—	—	—	—	—	—	—		
第80号 令和3年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	第7号 「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」採択を求める請願	×	○	×	○	○	○	○		
第81号 今井財産区管理委員の選任	○	○	○	○	○	○	第8号 「国の責任による『20人学級』を展望した少人数学級のさらなる前進」を求める請願	×	×	○	×	×	○	○		
第82号 監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	第9号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願	×	○	×	○	○	○	○		
認定(2件)	第1号 令和3年度一般会計、各特別会計決算の認定	○	○	×	○	○	認定	○	○	○	○	○	○	○		
第2号 令和3年度各公営企業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定	×	○	×	○	○	○	○		
諮問(1件)	第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	同意	第10号 地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	×	○	×	○	○	○	○	
報告(10件)	第21号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	報告月日 9月1日					第11号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	×	○	×	○	○	○	○		
第22号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	第12号 「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願						○	○	○	○	○	○				
第23号 専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	第7号 長野市の全ての事務事業評価シートの公開を求める陳情書						報告月日 9月1日									
第24号 地方独立行政法人長野市民病院の経営状況の報告	第8号 安倍元首相の国葬の中止を求める陳情書						報告月日 9月9日									

会派別所属議員名	議員数	所属議員名	議員数	所属議員名
新友会	19	小泉 栄正、西沢 利一、北澤 哲也、加藤 英夫、三井 秀樹、手塚 金沢、グレート無茶、経光 敦志、宮崎 和正、小林 義直、松田 治夫、和田 成、箱山 正一、寺沢さゆり、松田 光平、桜井 篤、西脇かおる、若林 祥、市川 和彦、青木 敏明	5	近藤 満里、松井 英雄、堀内 伸悟
改革ネット	6	布目裕喜雄、東方みゆき、堀入 学	1	小泉 一真
共産党	6	野々村博美、滝沢 真一、阿部 孝二、佐藤久美子、鈴木 洋一、倉野 立人、鎌倉 希旭、黒沢 清一、竹内 茂	1	小林 史子

質問の要旨

9月定例会本会議では二十人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

個人質問

新友会 北澤 哲也

問 現在、中学三年生までを対象の子ども福祉医療費の拡充を前向きに検討していくことが重要と考えるが

市長 子どもの福祉医療費の拡充について社会福祉審議会に諮問し、来年2月頃を目途に答申をいただき、福祉医療費給付金のあり方等について具体的な方針を決定していきたい。

問 新B1リーグ参入をめざす信州ブレイブウォリアーズは、新たなB1ライセンスの取得に向け、トイレの増設、プライベートルームや大型モーターの設置など、ホームアリーナであるホワイトリングの高機能化を必要としているが、市の対応は

文化スポーツ振興部長 企業版ふる



新B1リーグ参入に向け、ホームアリーナとして高機能化が必要とされているホワイトリング

さと納税を活用し、その寄附を財源にホワイトリングなど施設の高機能化を進めていくことを検討していく。

問 これまで市民に親しまれてきたもんぜんぷら座は、今後どのような方向性で検討していくのか

都市整備部長 今秋、地域の代表者や学識経験者などで構成する検討組織を立ち上げ、このエリアの核となる機能の導入や民間活力などによる拠点形成の検討に入っていく。

問 アフター御開帳の観光誘客について、今後の戦略は

商工観光部長 アウトドア観光など、少人数で楽しめる新たな観光スタイ

ルの構築や、持続可能な観光誘客について、プロジェクトで検討する。

改革ネット 倉野 立人

問 公共施設マネジメントについて、市民有志が本市体育館の有効活用とそれによる市民生活向上を期する前向きな活動を展開している。意見交換会を通じて得られた成果と課題は

総務部長 関係部局で十分に連携し分かりやすい資料を用意、相互理解が深まった。利用者にも様々な意見があるのをさらに議論を深めていく。

市長 部局ごとの判断にとどまらず情報共有や連携による複合的な判断が不可欠。

問 本市の外郭団体の障害者福祉施設に設置した機械が、当初から稼働しないでいる状況をどう考えるか

保健福祉部長 適正な管理運用が図られるよう、指導、助言する。

問 退職職員の第二の職場について、本来は経験値を活かし組織に貢献すべきだが、単なる腰かけに甘んじている実態もあるようだが考えは

総務部長 新たな気持ちで期待される能力が発揮されるよう伝える。

共産党 竹内 茂

問 市長は旧統一協会と認識して応援を受け、お礼にメッセージを送るなど政治家として許されないのでは

市長 社会的問題のある団体との認識のないまま送った。お詫びする。

問 国葬は憲法違反で、これには何ら関わるべきではないと考えるが

総務部長 今は考えていない。国の動向も注視せざるを得ない。

問 新型コロナウイルス感染症では、民間病院での病床確保は既に限界。今後の感染拡大に備え、公的病院の増床を

保健所長 医療機関や県と連携し、長野医療圏としての必要な病床の確保に取り組んでいく。

問 マイナンバーカードは健康保険証や銀行口座の紐づけで個人情報漏洩の危険がさらに増しているのでは

地域・市民生活部長 安全性は担保されていると考え、利用促進を図る。

問 放課後子ども総合プランの法人化は、チルドレンファーストで取り組む体制へ転換する絶好の機会だが



放課後子ども総合プラン施設で過ごす子どもたち
(城山子どもプラザ)

こども未来部長 利用児童の最善利益を第一に事業を実施していきたい。

問 8月6日の豪雨で農地が冠水、流木や土砂が蓄積しているが

農林部長 被害に遭われた農家の皆さんに寄り添っていききたい。

公明党 **勝山 秀夫**

問 「18歳の壁」に関するアンケート調査を、18歳以上の重度障害者のいる家庭、サービス事業者に実施し、長野市の実態を把握すべきでは

保健福祉部長 今年度、障害ふくしネットの中に夕方支援ワーキンググループを立ち上げ、状況の把握を行

っている。アンケートの実施の有無はワーキンググループで検討する。

※18歳の壁……特別支援学校等の卒業後、進学や就職ができなかった障害者が、学齢期には受けられていた夕方の時間帯の福祉サービスを受けられず、家族が仕事を変えたり辞めたりしなければならぬ問題のこと。

問 「18歳の壁」を解決するため、障害者の夕方支援を充実する必要があると考えるが

保健福祉部長 ワーキンググループでの検討結果を踏まえた上で、障害者とその家族に寄り添った夕方支援のあり方について鋭意検討する。

無所属 **小泉 一真**

問 市社会福祉協議会ホームページで、寄附実績として旧統一教会を筆頭に掲げて謝辞を述べ、権威付けに利用されている。市は助言・指導を

市長 社会的に様々な問題が指摘されており市社協が適切に判断すべき。

問 7月11日、市営バス大岡篠ノ井線の始発便が運転手の寝坊で四十五分遅発したお詫びに、バスを無料とするイベントを実施しては

企画政策部長 ICカードくるる無料の日を同路線等で10月に実施予定。

新友会 **西脇 かおる**

問 マイナンバーカードの交付率を上げるため、どのように取得促進を図っていくのか

地域・市民生活部長 国のマイナポイント事業第二弾の二万円分のインセンティブを積極的にPRし、取得促進を図っていききたい。

12月までにマイナンバーカードを申請すると条件に応じたマイナポイントがもらえる

問 納税者の利便性向上からも、さらに納税方法の多様化が必要では

会計局長 地方税共同機構が全国統一のQRコードの導入を予定。本市でも市税の所管部門で、この統一QRコードの対応準備を進めている。

問 適切な保育サービスの提供について、育児や保育に悩む保護者などどのように寄り添い支援していくのか

こども未来部長 最初の相談窓口の保育コーディネーターの広報周知を市内企業等にも図る。こども総合支援センター、子育てコンシェルジュ等で情報提供や助言を一層充実する。

問 (仮称) 朝陽総合市民センターの建設開始時期は

教育次長 令和8年から12年に実施時期を示せるよう検討を進めていきたい。

改革ネット **鎌倉 希旭**

問 環境美化啓発活動として、プロダクトの継続実施についての考えは

市長 自主性をもって参加でき、話題性もある。市民等と協力しながら環境美化の取り組みを推進していく中で、機会を捉えて私も参加したい。



8月に市内で行われたプロギン

※プロギング：スウェーデン語と英語を組み合わせた造語で、ジョギングをしながらごみ拾いをする新しいフィットネスのこと。ジョギングという運動に、ごみ拾いという社会貢献が追加されることで、さらなる爽快感を感じることができると言われている。

問 コロナ禍や物価高騰の影響を受けた事業者への緊急支援が必要では

商工観光部長 国や県が支援しておらず、市単独で家賃補助等の支援は困難。国・県の対応策を注視し、経営継続できる有効な支援を検討する。

新友会 箱山 正一

問 城山公園「交流の丘ゾーン」再整備の進捗状況はどうか

都市整備部長 城山公園再整備協議会が8月23日に設立。魅力的で高いポテンシャルをもつエリアであることを念頭に置き、今後の整備の方向性について議論していく。

教育次長 蔵春閣の取り壊しスケジュールについては現段階で提示できない状況。それまでは安全面に配慮した適切な施設管理を行い、城山公園の眺望や景観への影響にも配慮し、速やかに取り壊しができるよう、検討を進めていく。



城山公園「交流の丘ゾーン」から望む市街地

問 災害時のドローンを活用した初動調査について準備や計画はあるか

危機管理防災監 国土交通省において、今年度をめどに法改正等の整備を進めており、ドローン活用を幅を広げる環境が整いつつある。本年6月、ライオンズクラブから、災害時の迅速な支援に活かしてとの意向から、災害支援ターミナルとドローン二機が寄贈されることとなり、今後、庁内から集めた若手職員によるドローン部隊を結成し、ライオンズクラブの支援を受けながらパイロットの育成・訓練を実施していく。

新友会 加藤 英夫

問 これからの農業は今以上に経費

がかかる。本市農業がさらに発展するよう、予算の積み増しを

財政部長 担当部局から話を聞きながら、必要な事業の予算化に努める。

問 毎年同じ時期に同じ場所で農産物の熊被害が出ている。事前に捕獲し、効果的なお仕置きができるよう、県への働きかけの強化を

農林部長 学習放獣のための捕獲許可の権限移譲を含め、県に農業被害発生前の捕獲の働きかけを強める。

※学習放獣：…人家周辺に出没する熊に對して、「人の近くに行く」と怖い思いをする」という条件（体験）付けを与えた上で放獣すること。熊自身の学習効果を狙って実施するため、学習放獣という。

問 バイオマス産業都市長野の新たな展開に向け、木材集積の流れの中に、改質リグニンのプラントを挟むことを検討しては

新産業創造推進局長 本市への設置も可能性があると感じている。バイオマス産業都市長野の新たな展開の一つとして先進事例の動向を踏まえつつ、市内事業者とともに検討する。

※改質リグニン：…スギから作る新素材で、熱に強く、加工しやすく、環境にも優しいという特長をもつ。プラスチックの代替として、様々な製品

の素材に利用できる。

問 グライダー選手権開催に向け、同時に緊急時の救援機の離発着のため、若穂多目的広場に滑走路整備を

文化スポーツ振興部長 河川法の適用範囲になるため千曲川河川事務所と協議や調整が必要。滑走路整備は必要性を含め慎重に調査、研究する。

公明党 堀内 伸悟

問 市有施設男性トイレにサニタリーボックスの設置を推進しては

総務部長 早期に対応することが必要。優先順位をつけながら対応する。

問 流産・死産等のグリーフケアは行政の果たす役割が大きい。積極的な支援を。また、ご家族向けのホームページを作ってもらいたい

保健所長 グリーフケア事業を実施し、職員の資質向上や医療連携の強化、配布用パンフレットの作成を計画している。ホームページにもパンフレットや交流の場の支援情報を盛り込んでいきたい。

※グリーフケア：流産や死産、近親者との死別などによるグリーフ（悲嘆、深い悲しみ）にある人への支援のこと。

共産党 佐藤久美子

問 人工透析の通院助成は、タクシ
ー券補助の年間三十六枚（一枚六百
円）の支給と一割引きの助成がある
が、利用者本人の九割負担は重く使
いづらい。市内九百人前後の患者さ
んの通院助成を拡充すべきでは

保健福祉部長 今年度を目途に新年
度のあり方について、具体的な方向
性を示せるよう取り組んでいく。

問 令和2年と3年の不登校児童・
生徒数はどのくらいか。十年前と比
べて小学生が特に増えていることは
ないか。不登校の背景はどうか

教育長 小学校は令和2・3年とも
二百一人、中学校は2年が三百九十
二人、3年が四百五十二人で六十人
の増。十年前と比較すると小学校で
は二・八倍、中学校では約一・三倍
で低年齢化が現れている。不登校の
主な要因は、無気力・不安、親子関
係、学業不振が高い傾向。

新友会 和田 一成

問 市がめざす財政政策の方向性は

財政部長 中長期的に税収減、社会

保障関係費増を予測。維持管理コス
ト縮減、投資規模に見合わない事業
や施設の廃止・縮小、統廃合を図り、
デジタル化推進、行政スリム化・効
率化が重要。その捻出財源で新産業
創出や既存産業の成長支援、市の魅
力を高める投資を積極的に行いたい。

問 奥樺花自然園の環境保全は

商工観光部長 ミズバショウ生息地
のヨシ繁殖や陸地化に関する調査実
施を環境部と協議中。調査結果が出
たら地域と情報共有し、保全方法や
地域参加のあり方等検討を進める。

問 戸隠森林植物園内の遊歩道整備
と戸隠神社奥社周辺への歩道設置は

商工観光部長 国・県・市・戸隠観
光協会などで構成する戸隠森林植物
園管理運営協議会で、自然環境の保
全に配慮した木橋や土道の整備等、



戸隠森林植物園内の遊歩道

持続可能な形で遊歩道の維持を図る。
建設部長 現地調査と詳細設計が完
了し、現在は事業用地取得に向け関
係地権者と協議中。地元も歩道設置
検討会議を設置しており、事業完成
に向け、県に積極的に協力していく。

無所属 小林 史子

問 子どもから、学校での先生から
の体罰・性被害の相談があったとき
どう対応するかは重要。こども総合
支援センターに子どもからのSOS
が来たら、具体的にどう救済するか、
救済できる体制になっているか

こども未来部長 相談を受けた瞬間
からその度合いを判断、関係機関と
連携し、課題解決に向けてより迅速
に対応する。それでも子どもの権利
が侵害されている場合は、長野県子
ども支援委員会に申し立てをいただ
くことで、救済につながると考える。

改革ネット 東方みゆき

問 物価高騰下の単価契約の対応は

財政部長 予見困難な著しい事情変
化の場合、契約内容の変更も必要と
認識。相手方の申し出内容を精査し、
再度見積り合わせなどの対応をする。



生育が進むワイン用ぶどう

問 広域ワイン特区認定への検討は

農林部長 先行・近隣自治体と意見
交換した。今回は単独申請だが、広
域的な取り組みの第一歩と考える。

問 ワインツーリズムにどう臨むか

商工観光部長 インバウンドも視野
に入れ、周辺市町村とも連携を図る。

問 篠ノ井中央公園のサウンディン
グ調査後の状況は

都市整備部長 令和元年秋に公募を
予定したが、台風災害やコロナ拡大
で見合わせた。今後改めて調査する。

公明党 松井 英雄

問 フリースクール等への入学金、
授業料等について、保護者に支援す
べきと考えるか



学校以外の子どもの居場所施設・団体一覧。市ホームページにも掲載されている

教育次長 不登校児童・生徒が安心して自立への道を探る居場所として、民間施設も活用できるよう、保護者への負担軽減の支援策を検討する。

問 ケアリーバーの継続的な支援についての現状は

子ども未来部長 県社会福祉協議会が中心となり立ち上げた、若者サポートプロジェクトに参画し、社会的養護出身の若者を切れ目なく包括的に支えていく。

※ケアリーバー：児童養護施設等の入所措置等が解除された人のこと。措置等の解除後も被虐待経験など様々な悩みを抱え、また、家庭による支援も見込みにくい中、自立にあたって困難を抱える場合が多く、自立に向けたサポートが必要とされている。

共産党 **阿部 孝一**

問 全国的にこの五年間で給食費の



児童が楽しみにしている学校給食

無償化等が進んでいる。全国では無償化や一部支援を含め四百十七自治体が実施。本市での無償化の考えと軽減策は

教員次長 無償化は継続的な自主財源の確保が必要となり、困難な状況。第三子以降を無償にした場合、約二億五千万円が必要で、財源の問題は避けて通れない。引き続き国の動向などを注視し、慎重に研究していく。

問 防犯灯が切れて、電灯がつくの
に一月以上かかった。防犯灯は住民の安全を守る灯り。冬場になれば午後五時から暗くなり危険だ。支

所決裁や支所から工事業者に発注するなど、地域の負担軽減と工期の短縮を図るべきでは

地域・市民生活部長 区の皆さんと連携して、できる限り短期間で修繕が完了するよう努める。

新友会 **桜井 篤**

問 市民を歯周病から守るために、今後どのように取り組むのか

保健所長 歯の健康や歯周病に関する正しい知識、定期的な受診の必要性などについて、より一層の周知に取り組んでいきたい。

問 海洋プラスチックごみの削減について、市民にどのように啓発を行い、今後どのように取り組むのか

環境部長 広報ながの、市ホームページ、全戸配布のえこねこ通信、出前講座なども活用し、ごみの適正な処理及びプラスチック・スマートの広報、啓発に取り組んでいきたい。

※プラスチック・スマート：世界的な海洋プラスチック問題の解決に向け、個人・自治体・企業などが連携、協働し、正しい処理やリサイクル方法など、プラスチックと賢く付き合う取り組みを広めるため、環境省が平成30年10月から始めたキャンペーン

のり。

問 道路上に設置されている段差解消スロープの違法性について、市民に理解され、撤去等の協力を得るため、どう取り組んでいくのか

建設部長 市ホームページの拡充など広報活動の強化のほか、違法物件は撤去を依頼するなど、道路の適正な使用と安全確保に努める。

問 中間教室はニーズに比べて受け入れ体制が少ない。通室希望の全ての児童・生徒を受け入れられる新たな魅力ある施設の整備を提案するが

教育長 より多くの児童・生徒の受け入れが可能となるよう、全市的な視点から中間教室の再編について、早急に検討していく。

公明党 **小林 秀子**

問 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行への警戒が必要。対応は

保健所長 発熱やせきなど症状が似ているため、医療機関や患者が混乱することが懸念される。県、医師会、医療機関等と連携し、医療体制の強化に取り組み、相談や受診などの変更点について市民に周知したい。



休日の一時預かりの様子（柳町保育園）

問 女性の就労が当たり前の時代、土日が忙しいサービス業に従事する方々のお子さんの保育ニーズは少ない。本市の考えは

市長 支援サービスを丁寧^{ていねい}に説明し、状況に応じた様々なサービスを保護者が選択、利用できるよう、伴走型支援に努める。

改革ネット 鈴木 洋一

問 建設資材の高騰に対する柔軟な対応について、国は本年6月、特定の資材価格の急激な変動による受注者リスクの負担回避等のため、適切な対応を図るよう通知した。それを受け県は8月、建設工事請負契約書

第二十六条五項（単品スライド条項）の運用マニュアルを改定したが、長野市の受け止めと対応は

建設部長 本条項について本年7月、庁内の関係各課に対し、適切な運用について通知している。県の運用を準用している本市は、工事受注者からの請求に応じて、改定された県のマニュアル等に基づき、適切に対応していく。また、受注者や業界団体に対し、その都度、丁寧に説明することで周知を図っていく。

※単品スライド条項：建設工事請負契約書の条項で、工期内に主要な工事材料の価格が著しく変動し、請負代金額が不適当となったとき、請負代金額の変更を請求できることを定めるもの。



価格の変動が懸念される建設資材

新友会 金沢 敦志

問 近年の酷暑続きで、児童館、児童センターの遊戯室にもエアコンを設置する必要があると考えるが

こども未来部長 遊戯室を居室として使用せざるを得ない施設については、今後、遊戯室にもエアコンの整備を進めたい。

問 フリースクール等民間施設を利用する児童・生徒の保護者への支援が必要だと考えるが

教育次長 他の自治体の取り組みを参考にして、保護者の経済的負担を軽減するための支援について検討を進めたい。

問 所有者のいない空き家の状況と、その解決に向けた方策は

建設部長 所有者不明の空き家は二十一件確認している。空き家解消に向け、空家等対策協議会や専門家団体と連携し、民法改正後の財産管理制度活用の可能性など、新たな取り組みについても検討を進める。

問 北八幡川地蔵橋上流の事業認可予定区間の事業が全て終了するのに、



本年度から掘り下げ工事に着手する北八幡雨水調整池

どのくらいの期間がかかるか

建設部長 工事期間は長期にわたる。本年度からは北八幡調整池の掘り下げ工事に着手し、水路改修と同時に整備を進める。複数工区での実施も検討するなど、事業期間の短縮に努める。



市議会本会議は、ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索でご覧いただけます。

（注）9月定例会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、11月下旬以降順次行予定です。

審議結果については、3頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

常任委員会のうごき



子どもたちでにぎわう城山公園噴水広場

建設企業委員会

●公園の整備については、幼児から高齢者まで幅広い年齢の方が利用する場所であり、市民の関心も高いことから、安全・安心に利用できるよう維持管理に努めるとともに、価値ある魅力的な公園とするため、関係部局とも連携をとりながら、活用方法を広く検討するよう要望した。

●本年7月に、市道地下に生じた空洞のため道路が陥没し、車両が損傷するという事故が発生した。今回の事故は人命に関わるものではなかったが、道路の瑕疵は大きな事故につながりかねないものであるため、きめ細かな道路の安全管理とともに、災害時に特に重要な幹線道路につい

ては、空洞化調査の検討を進めるよう要望した。

●地籍調査事業について、中山間地域においては、土地所有者の高齢化が進んでいるため土地の境界が分からなくなることも危惧されている。先進技術を用いた効率的な地籍調査方法を研究し、早急に進めていくよう要望した。

総務委員会

●キャッシュレス決済について、市では、本年11月から、市民窓口課の窓口においてクレジットカードや電子マネーにも対応するマルチ決済が導入されるなど、様々な手続きにおいて、順次キャッシュレス決済の導入が進められている。

キャッシュレス決済の導入で利用可能な納入方法が増えることにより市民の利便性がさらに向上するので、収納金の受け入れ窓口となる会計局においては、今後も引き続き、各種手続きにおける納入方法の多様化の取り組みを支援するよう要望した。

●先日、上野三丁目地籍において発生した火災について、本火災では、消火活動中に消防隊員二名が負傷したとのことで、現場活動における職員の安全管理を改めて徹底するよう

要望した。また、この火災における罹災された方々への対応については、支所や庁内関係部局と情報共有、連携し、部局横断的にきめ細かな支援に取り組むよう要望した。

福祉環境委員会

●冬季暖房費に対する助成金について、簡易かつ効率的な手続きにより、これが必要とするより多くの対象者へ助成金が行き届くよう要望した。

●電気自動車の充電設備の設置について、今後設置する場合も、国等の補助制度を十分に比較検討し、最も有利な財源の確保に努めるよう要望した。

●おでかけパスポート事業について、事業の見直しの検討を進めるにあたり、利用者の利便性向上の観点からその仕組みを検討するとともに、課題にあつては十分な洗い出しをするよう要望した。

●ヤングケアラーの相談・支援体制について、多様な相談者に対し、より一層寄り添い傾聴し、関係部署と連携して支援につなげていく体制を構築するよう要望した。

●ごみ指定袋の価格について、原材料費の高騰に伴う販売価格の高騰が懸念される中、市民の負担を上げな

いという視点において、補助制度を検討するよう要望した。

経済文教委員会

●学校施設等の安全確保について、対策が必要な石碑等が複数判明している。本年度中に対応予定とのことだが、子どもの安全に関わるため、改めて、施設の点検をしっかりと行うことを要望した。また、施設の長寿命化という観点から、建物本体だけでなく、附帯設備についても点検や予防的補修を行うよう要望した。

●不登校児童の早期発見、早期対応にはスクールソーシャルワーカーの活動が重要で、社会的自立に向けた細やかな支援につなげることが期待される。本市におけるスクールソーシャルワーカーの任用は昨年度の二名から四名へ増員しており活動時間も増加しているが、予算は不足する可能性があるとのこと。児童に寄り添った支援を継続できるように、来年度に向けて検証することを要望した。

●請願第七号、第八号、第九号、第十号、第十一号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

●請願第十二号は、請願者の願意を酌んで、全員賛成で採択すべきものと決定した。

特別委員会のうごき

農林業振興対策 特別委員会

7月に、農地中間管理機構関連農地整備事業で基盤整備を行っている若穂綿内東町地区を視察した。

9月定例会では、一年間の調査・研究を振り返り、農林業振興では構造改革特別区域法によるワイン特区認定後のワイン生産振興やスマート農業の取り組み、農福連携への期待とともに、中山間地域の農地所有者へ農地維持管理についての指導、個人の農業機械化補助の支援継続、親元就農者支援事業の年齢要件の緩和を要望した旨を報告した。

また、林業振興では、地域木材の流通が広がるよう県の補助制度の市



若穂綿内東町地区の視察の様子

民への周知と森林経営計画策定段階から市が森林関係者と林業事業者の仲介役を果たすことを要望した旨を報告した。

まために、委員一人ひとりが活動を通じて持続可能な農林業を積極的に推進していく思いを強くした。

9月定例会中に松田光平農林業振興対策特別委員会委員長から委員長辞任願が提出され、同委員会において許可されたことに伴い、新たに近藤満里委員が委員長に選出されました（任期は9月末まで）。

災害対策等調査研究 特別委員会

7月に、令和元年東日本台風により被災した箇所等の視察を行った。改修された長沼体育館や排水機場、河道掘削現場、篠ノ井地区の堤防などを視察し、ハード面の整備が着実に進んでいることを確認した。

9月定例会では、この一年間に委員会の中で出された意見等を集約し、次のように要望した。

●本委員会の意見等が盛り込まれた避難所マニュアルを使い、円滑な避難所の開設や運営が行えるよう職員研修や訓練を行うこと。マニュアル

概要版を使用し市民に分かりやすく周知するとともに、状況に応じてマニュアルを更新すること。

●避難指示を認知しても、必ずしも避難所への避難行動に結びついていないことが課題である。避難情報が発令された際に、まずは自らの安全を確保する行動を起こす意識になるよう市民に対する啓発に取り組むこと。

観光戦略調査研究 特別委員会

本委員会では、8月に長野市の体験コンテンツやホームタウンNAGANOまちづくり連携推進ビジョンについて調査を行った。

9月定例会では、この一年間に調査、研究した中で出された意見を次のように要望した。

●観光客が、対話の深さや人と関わる時間などの質を求めているため、市内の各地域からアイデアを吸い上げて、満足度の高い体験型コンテンツの開発を推進していくこと。

また、地域等で開発しているコンテンツに対し、全体を俯瞰した助言や、コンテンツを組み合わせて周遊を促すなど、プロデュースができる仕組みを検討していくこと。

●本市で策定された、ホームタウン

NAGANOまちづくり連携推進ビジョンが、広く市民にメリットが行き渡る施策となるよう、長野市とプロスポーツチームとの連携を高めていくこと。

公共交通対策調査研究 特別委員会

7月の委員会では、長野市地域公共交通計画（案）について調査を行い、9月定例会では、一年間の調査・研究で出た意見等を集約して、委員長報告として次のように要望した。

●公共交通網を維持するためには、「乗って残す」ことが重要であり、通勤・通学での利用促進やICカードKURURUの利用、子どもを対象にしたバスの啓発など、積極的な促進策を要望した。

●路線の見直し等を進めるにあたっては、市民の声にしっかりと耳を傾け、市民が利用しやすいものに変えていく方法も検討するよう要望した。

●12月から信州新町でAI予約システムを導入したオンデマンド交通システムの実証実験が始まるが、実験の中で予約方法や乗降場所などを改善していくこと。オンデマンド交通システムが中山間地域において、地域住民のニーズに対応した効果的な輸送手段となるよう要望した。

新しい議会構成

議長 寺沢さゆり 副議長 手塚 秀樹

市議会には常任委員会と特別委員会が置かれています。9月定例会では副議長と各委員会の委員が新たに選任され、議会の構成も変わりました。正副議長と委員を、各委員会の所管事項とともに紹介します。

常任委員会

※◎=委員長、○=副委員長



後列
黒沢 清一 手塚 秀樹
三井 経光 ○松井 英雄
小林 史子 ◎北澤 哲也
グレート無茶 東方みゆき
和田 一成 鈴木 洋一



後列
寺沢さゆり 若林 祥
阿部 孝二 ○加藤 英夫
松田 光平 ◎布目裕喜雄
西沢 利一 小泉 一真
倉野 立人 小林 秀子



後列
塩入 学 市川 和彦
西脇かおる ○桜井 篤
竹内 茂 ◎金沢 敦志
勝山 秀夫 佐藤久美子
小泉 栄正



後列
宮崎 治夫 野々村博美
近藤 満里 ○箱山 正一
小林 義直 ◎滝沢 真一
青木 敏明 堀内 伸悟
鎌倉 希旭

議会運営委員会

議会運営委員会

議会運営、会議規則、委員会条例等、議長の諮問に関すること。

◎北澤 哲也 ○金沢 敦志 野々村博美
滝沢 真一 布目裕喜雄 塩入 学
松井 英雄 宮崎 治夫 西沢 利一
三井 経光

特別委員会

災害対策等調査研究特別委員会

激甚化する災害、感染症等への対応について、調査・研究を行う。

◎鈴木 洋一 ○西脇かおる 佐藤久美子
青木 敏明 小泉 一真 勝山 秀夫
北澤 哲也 小泉 栄正 倉野 立人

観光戦略調査研究特別委員会

ポストコロナの活性化策として、広域連携、スポーツコンベンション、地域のまちづくり等を踏まえた観光戦略について、調査・研究を行う。

◎宮崎 治夫 ○グレート無茶 松井 英雄
加藤 英夫 小林 史子 黒沢 清一
東方みゆき 近藤 満里 三井 経光

公共交通対策調査研究特別委員会

交通弱者への配慮の観点を含めた公共交通について、調査・研究を行う。

◎野々村博美 ○和田 一成 桜井 篤
西沢 利一 竹内 茂 市川 和彦
布目裕喜雄 小林 秀子 松田 光平

水道事業広域化調査研究特別委員会

県及び3市1町で検討している上田長野地域水道事業広域化について、調査・研究を行う。

◎小林 義直 ○箱山 正一 鎌倉 希旭
塩入 学 滝沢 真一 若林 祥
金沢 敦志 阿部 孝二 堀内 伸悟

※◎=委員長、○=副委員長。他の委員の記載順は、座席番号の順による。

総務委員会

総務部、企画政策部、財政部、地域・市民生活部、会計局、消防局、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員に関する事。他の常任委員会の所管に属しないこと。

福祉環境委員会

保健福祉部、こども未来部、環境部に関する事。

経済文教委員会

商工観光部、新産業創造推進局、文化スポーツ振興部、農林部、教育委員会、農業委員会に関する事。

建設企業委員会

建設部、都市整備部、上下水道局に関する事。

編集委員

委員長 松井 英雄
副委員長 桜井 篤
委員 東方みゆき 和田 一成
箱山 正一 加藤 英夫
小泉 一真 佐藤久美子

今号の議会報百二十号発刊にて、今期の議会報編集委員の任期が終わりとなります。市民の皆様には、ご愛読をいただき感謝申し上げます。先日長野市が行ったまちづくりアンケートに、市議会がだよりに関する設問が掲載されました。回答いただきましたアンケート結果を参考に、今後も市民の皆様が親しまれ、読みたくなる紙面となるよう、議員一丸となって取り組んでまいります。

編集後記

12月市議会定例会 会議予定

12月1日(木) 本会議(会期の決定) 議案(上程)

2日(金) 6日(火) 休会

7日(水) 本会議(一般質問(代表))

8日(木) 本会議(一般質問(代表・個人))

9日(金) 本会議(一般質問(個人))

10日(土) 本会議(一般質問(個人))

11日(日) 休会

12日(月) 本会議(一般質問(個人))

13日(火) 本会議(一般質問(個人))

14日(水) 本会議(総務・経済文教)

15日(木) 本会議(採決)

16日(金) 本会議(採決)

17日(土) 本会議(採決)

18日(日) 本会議(採決)

19日(月) 本会議(採決)

●日程案は変更となる場合があります。

●「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。

●傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。マスクの着用をお願いします。

●本会議：第一庁舎7階(傍聴席入口)

●委員会：第一庁舎8階(議会事務局)

●乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。(いずれも無料)



長野市議会
長野市議会ホームページ
https://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/
E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

検索

長野市議会事務局 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL: 224-5057 FAX: 224-5105